

## 令和 3 年度決算説明資料

## 目次

## I 令和 3 年度収支決算について

## 1 収支の状況

(1) 収支の概要	1P
(2) 収支の推移	2P
① 概要	2P
② 令和 2 年度決算との比較（病院別）	3P

## II 令和 3 年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況	7P
2 施設整備・医療機器等購入について	8P
3 安佐市民病院の建替えについて	9P
4 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況	9P
5 留保資金の状況	9P

## 資料編

## 1 各年度決算比較

(1) 収支の状況	11P
(2) 収入の状況	12P
(3) 支出の状況	17P



Ⅰ 令和3年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要

令和3年度収支決算は、収入合計629.6億円に対し、支出合計は607.7億円で、差引損益は21.9億円の黒字となった。

これにより、前期までの繰越利益剰余金14.8億円に加え、36.7億円の利益剰余金となった。

(表1) 令和3年度収支決算

単位:億円

区分		合計 一般 1,482床 精神 28床 感染症 16床 計 1,526床	病院別			
			広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	安佐市民病院 一般 527床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハビリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名
収入	入院収入	358.7	205.6	120.8	16.5	15.8
	外来収入	165.9	101.8	53.2	10.1	0.8
	計	524.6	307.4	174.0	26.6	16.6
	その他	9.0	5.6	2.1	0.9	0.4
	小計	533.6	313.0	176.1	27.5	17.0
	運営費負担金・交付金	45.0	19.4	7.2	11.2	7.2
	その他収入	51.0	14.5	20.4	14.8	1.3
	合計	629.6	346.9	203.7	53.5	25.5
支出	給与費	295.4	158.3	94.2	24.1	18.8
	材料費	182.4	116.2	59.9	5.8	0.5
	経費	77.5	39.3	23.9	9.4	4.9
	減価償却費	44.2	21.6	17.9	2.5	2.2
	その他	8.2	4.4	2.1	1.1	0.6
	合計	607.7	339.8	198.0	42.9	27.0
差引損益		21.9	7.1	5.7	10.6	▲ 1.5

※1 本部事務局分は、安佐市民病院整備室に係る支出を除き、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。

(按分比広島50.0%、安佐27.2%、舟入12.9%、リハ9.9%)

※2 安佐市民病院は、令和4年5月1日から北部医療センター安佐市民病院として開院。

病床数 一般414床、精神20床、計434床

(2) 収支の推移

① 概要

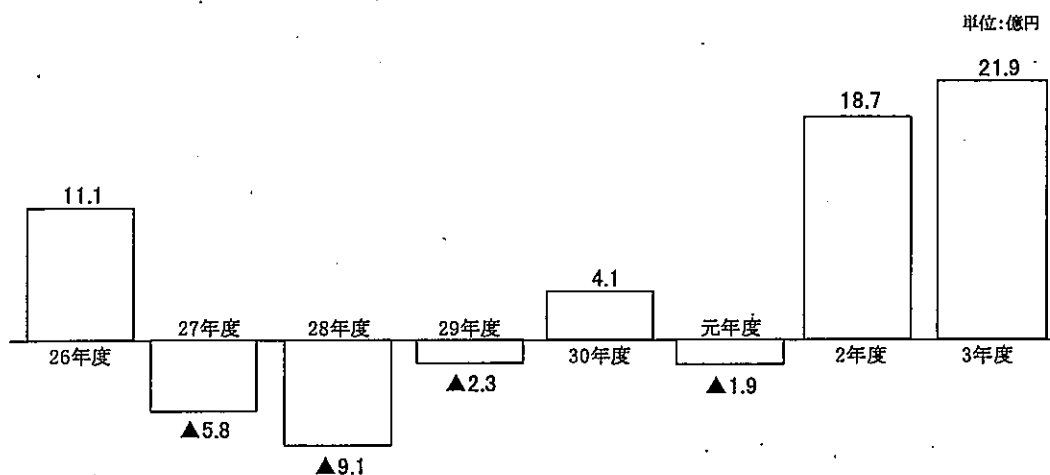
法人化初年度の平成 26 年度は黒字であったが、その後収支が悪化したため、職員一丸となって経営改善に取り組んだ結果、収支改善が図られ、30 年度は 4.1 億円の黒字を計上した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来患者数が減少し、元年度は▲1.9 億円の赤字となった。このため、一層の経費節減や収入増に取り組んだことに加え、新型コロナウイルス感染症に積極的に対応したことによる補助金収入もあって、2 年度以降は黒字に転換した。

3 年度の収支状況は、手術件数の増の取組みなどにより入院・外来収入が 26.8 億円増加し、新型コロナウイルス感染症に係る補助金が 1.5 億円増加したことから、収入合計は前年度に比べ 27.5 億円増加した。一方、支出については、材料費が入院・外来収入の増に伴い 11.4 億円増加し、安佐市民病院の移転に伴い今後取り壊す建物等の償却期間の短縮により減価償却費が 5.9 億円増加したことから、前年度に比べ 24.3 億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ 3.2 億円増加し、21.9 億円の黒字となった。

(図 1) 4 病院の損益の推移



(表 2) 病院別内訳

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	5.6	▲4.3	▲5.3	▲4.2	0.7	▲3.2	3.7	7.1
安佐市民病院	5.8	0.0	▲3.7	1.0	2.6	1.6	10.5	5.7
舟入市民病院	1.0	0.0	1.5	1.4	1.6	1.0	5.5	10.6
リハビリテーション病院	▲1.3	▲1.5	▲1.6	▲0.5	▲0.8	▲1.3	▲1.0	▲1.5
計	11.1	▲5.8	▲9.1	▲2.3	4.1	▲1.9	18.7	21.9

② 令和2年度決算との比較（病院別）

(7) 広島市民病院

収入については、入院収入は手術件数の増などによる診療単価の増により5.9億円増加し、外来収入は患者数の増や薬剤の増などによる診療単価の増により4.9億円増加した。また、運営費負担金・交付金は基礎年金拠出金公的負担経費の皆減などにより▲4.3億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ10億円増加した。

一方、支出については、材料費は医業収益の増などにより6.5億円増加し、経費は医療機器の修繕などの増により1.8億円増加した。また、減価償却費は医療情報システムの償却期間終了などにより▲2億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ6.6億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ3.4億円増加し、7.1億円の黒字となった。

(表3) 収支の推移

区分		第2期中期計画期間					第2期中期計画額
		30年度	元年度	2年度	3年度	4か年合計	
収入	入院収入	209.0	211.9	199.7	205.6	826.2	833.0
	対前年度増減	-	2.9	▲12.2	5.9	▲6.8	-
	外来収入	97.3	103.2	96.9	101.8	399.2	369.8
	対前年度増減	-	5.9	▲6.3	4.9	29.4	-
	小計	306.3	315.1	296.6	307.4	1,225.4	1,202.8
	対前年度増減	-	8.8	▲18.5	10.8	22.6	-
	その他	5.8	6.5	6.0	5.6	23.9	24.0
	対前年度増減	-	0.7	▲0.5	▲0.4	▲0.1	-
	計	312.1	321.6	302.6	313.0	1,249.3	1,226.8
	運営費負担金・交付金	19.4	18.6	23.7	19.4	81.1	73.6
	対前年度増減	-	▲0.8	5.1	▲4.3	7.5	-
	その他	4.0	3.7	10.6	14.5	32.8	20.9
	対前年度増減	-	▲0.3	6.9	3.9	11.9	-
合計	335.5	343.9	336.9	346.9	1,363.2	1,321.3	
対前年度増減	-	8.4	▲7.0	10.0	41.9	-	
支出	給与費	157.8	161.5	157.8	158.3	635.4	639.7
	対前年度増減	-	3.7	▲3.7	0.5	▲4.3	-
	材料費	108.4	116.4	109.7	116.2	450.7	412.5
	対前年度増減	-	8.0	▲6.7	6.5	38.2	-
	経費	36.8	38.2	37.5	39.3	151.8	150.7
	対前年度増減	-	1.4	▲0.7	1.8	1.1	-
	減価償却費	25.6	25.5	23.6	21.6	96.3	99.5
	対前年度増減	-	▲0.1	▲1.9	▲2.0	▲3.2	-
	その他	6.2	5.5	4.6	4.4	20.7	21.9
	対前年度増減	-	▲0.7	▲0.9	▲0.2	▲1.2	-
合計	334.8	347.1	333.2	339.8	1,354.9	1,324.3	
対前年度増減	-	12.3	▲13.9	6.6	30.6	-	
差引損益	0.7	▲3.2	3.7	7.1	8.3	▲3.0	
対前年度増減	-	▲3.9	6.9	3.4	11.3	-	

※1 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

※2 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第2期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」-「第2期中期計画額」）

(4) 安佐市民病院

収入については、入院収入は新型コロナウイルス感染症患者の増による診療単価の増などにより4.2億円増加し、外来収入はポリペクトミー等手術の外来化による外来診療単価の増などにより4.1億円増加した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の増などにより1.9億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ11.3億円増加した。

一方、支出については、材料費は医業収益の増などにより4.1億円増加し、経費は新病院移転に伴う消耗備品費などの増により2.7億円増加した。また、減価償却費は移転に伴い今後取り壊す建物等の償却期間の短縮により8.6億円増加した。これらから、支出合計は前年度に比べ16.1億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲4.8億円減少したものの、5.7億円の黒字となった。

(表4) 収支の推移

区分		第2期中期計画期間					第2期中期計画額
		30年度	元年度	2年度	3年度	4か年合計	
収入	入院収入	121.5	123.7	116.6	120.8	482.6	483.5
	対前年度増減	-	2.2	▲7.1	4.2	▲0.9	-
	外来収入	45.8	50.3	49.1	53.2	198.4	183.2
	対前年度増減	-	4.5	▲1.2	4.1	15.2	-
	小計	167.3	174.0	165.7	174.0	681.0	666.7
	対前年度増減	-	6.7	▲8.3	8.3	14.3	-
	その他	2.1	2.1	1.8	2.1	8.1	8.0
	対前年度増減	-	0.0	▲0.3	0.3	0.1	-
	計	169.4	176.1	167.5	176.1	689.1	674.7
	運営費負担金・交付金	7.1	6.9	6.4	7.2	27.6	29.6
	対前年度増減	-	▲0.2	▲0.5	0.8	▲2.0	-
	その他	2.0	1.9	18.5	20.4	42.8	9.1
	対前年度増減	-	▲0.1	16.6	1.9	33.7	-
	合計	178.5	184.9	192.4	203.7	759.5	713.4
対前年度増減	-	6.4	7.5	11.3	46.1	-	
支出	給与費	92.1	94.1	94.7	94.2	375.1	377.0
	対前年度増減	-	2.0	0.6	▲0.5	▲1.9	-
	材料費	50.4	55.7	55.8	59.9	221.8	192.0
	対前年度増減	-	5.3	0.1	4.1	29.8	-
	経費	20.2	21.4	21.2	23.9	86.7	90.1
	対前年度増減	-	1.2	▲0.2	2.7	▲3.4	-
	減価償却費	11.7	11.2	9.3	17.9	50.1	42.2
	対前年度増減	-	▲0.5	▲1.9	8.6	7.9	-
	その他	1.5	0.9	0.9	2.1	5.4	4.5
	対前年度増減	-	▲0.6	0.0	1.2	0.9	-
合計	175.9	183.3	181.9	198.0	739.1	705.8	
対前年度増減	-	7.4	▲1.4	16.1	33.3	-	
差引損益	2.6	1.6	10.5	5.7	20.4	7.6	
対前年度増減	-	▲1.0	8.9	▲4.8	12.8	-	

※1 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

※2 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第2期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」－「第2期中期計画額」）

(ウ) 舟入市民病院

収入については、入院収入は新型コロナウイルス感染症患者数の増による診療単価の増などにより3.9億円増加し、外来収入は発熱外来患者数の増などにより2.9億円増加した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減などにより▲3.3億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ5.8億円増加した。

一方、支出については、材料費は医業収益の増などにより0.8億円増加し、経費はPCR検査数の増による委託料の増などにより0.8億円増加した。また、減価償却費は電子カルテシステムの償却期間終了などにより▲0.7億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ0.7億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ5.1億円増加し、10.6億円の黒字となった。

(表5) 収支の推移

区 分		第2期中期計画期間					第2期中期 計 画 額
		30年度	元年度	2年度	3年度	4か年合計	
収 入	入院収入	16.7	15.9	12.6	16.5	61.7	65.3
	対前年度増減	-	▲0.8	▲3.3	3.9	▲3.6	-
	外来収入	12.1	11.9	7.2	10.1	41.3	48.4
	対前年度増減	-	▲0.2	▲4.7	2.9	▲7.1	-
	小 計	28.8	27.8	19.8	26.6	103.0	113.7
	対前年度増減	-	▲1.0	▲8.0	6.8	▲10.7	-
	その他	2.2	2.2	1.4	0.9	6.7	12.1
	対前年度増減	-	0.0	▲0.8	▲0.5	▲5.4	-
	計	31.0	30.0	21.2	27.5	109.7	125.8
	運営費負担金・交付金	13.0	13.3	8.4	11.2	45.9	51.5
	対前年度増減	-	0.3	▲4.9	2.8	▲5.6	-
	その他	1.1	1.0	18.1	14.8	35.0	4.3
	対前年度増減	-	▲0.1	17.1	▲3.3	30.7	-
合 計	45.1	44.3	47.7	53.5	190.6	181.6	
対前年度増減	-	▲0.8	3.4	5.8	9.0	-	
支 出	給与費	24.5	24.7	24.6	24.1	97.9	99.7
	対前年度増減	-	0.2	▲0.1	▲0.5	▲1.8	-
	材料費	5.6	5.3	5.0	5.8	21.7	23.5
	対前年度増減	-	▲0.3	▲0.3	0.8	▲1.8	-
	経費	8.7	8.7	8.6	9.4	35.4	37.5
	対前年度増減	-	0.0	▲0.1	0.8	▲2.1	-
	減価償却費	3.6	3.7	3.2	2.5	13.0	13.7
	対前年度増減	-	0.1	▲0.5	▲0.7	▲0.7	-
	その他	1.1	0.9	0.8	1.1	3.9	4.2
	対前年度増減	-	▲0.2	▲0.1	0.3	▲0.3	-
合 計	43.5	43.3	42.2	42.9	171.9	178.6	
対前年度増減	-	▲0.2	▲1.1	0.7	▲6.7	-	
差引損益		1.6	1.0	5.5	10.6	18.7	3.0
対前年度増減		-	▲0.6	4.5	5.1	15.7	-

※1 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

※2 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第2期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」－「第2期中期計画額」）

## (E) リハビリテーション病院・自立訓練施設

収入については、入院収入は広島市民病院及び安佐市民病院からの入院患者数の増などにより0.9億円増加し、運営費負担金・交付金は企業債元金償還金の減などにより▲0.8億円減少した。また、その他収入は利用者増による自立訓練施設収益の増などにより、0.1億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ0.4億円増加した。

一方、支出については、給与費は育児休業からの復帰などにより0.6億円増加し、経費は建物総管理業務の増による委託料の増などにより0.2億円増加した。これらから、支出合計は前年度に比べ0.9億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲0.5億円減少し、▲1.5億円の赤字となった。

(表6) 収支の推移

区 分		第2期中期計画期間					第2期中期 計画額
		30年度	元年度	2年度	3年度	4か年合計	
収 入	入院収入	15.8	15.9	14.9	15.8	62.4	64.3
	対前年度増減	-	0.1	▲1.0	0.9	▲1.9	-
	外来収入	0.8	0.9	0.8	0.8	3.3	2.8
	対前年度増減	-	0.1	▲0.1	0.0	0.5	-
	小計	16.6	16.8	15.7	16.6	65.7	67.1
	対前年度増減	-	0.2	▲1.1	0.9	▲1.4	-
	その他	0.3	0.3	0.2	0.4	1.2	1.3
	対前年度増減	-	0.0	▲0.1	0.2	▲0.1	-
	計	16.9	17.1	15.9	17.0	66.9	68.4
	運営費負担金・交付金	7.0	6.9	8.0	7.2	29.1	28.9
	対前年度増減	-	▲0.1	1.1	▲0.8	0.2	-
	その他	1.0	1.3	1.2	1.3	4.8	3.9
対前年度増減	-	0.3	▲0.1	0.1	0.9	-	
合計	24.9	25.3	25.1	25.5	100.8	101.2	
対前年度増減	-	0.4	▲0.2	0.4	▲0.4	-	
支 出	給与費	17.8	18.5	18.2	18.8	73.3	73.7
	対前年度増減	-	0.7	▲0.3	0.6	▲0.4	-
	材料費	0.4	0.4	0.5	0.5	1.8	1.7
	対前年度増減	-	0.0	0.1	0.0	0.1	-
	経費	4.7	4.9	4.7	4.9	19.2	20.5
	対前年度増減	-	0.2	▲0.2	0.2	▲1.3	-
	減価償却費	2.2	2.2	2.2	2.2	8.8	9.7
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	▲0.9	-
	その他	0.6	0.6	0.5	0.6	2.3	2.4
	対前年度増減	-	0.0	▲0.1	0.1	▲0.1	-
合計	25.7	26.6	26.1	27.0	105.4	108.0	
対前年度増減	-	0.9	▲0.5	0.9	▲2.6	-	
差引損益	▲0.8	▲1.3	▲1.0	▲1.5	▲4.6	▲6.8	
対前年度増減	-	▲0.5	0.3	▲0.5	2.2	-	

※1 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断費料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

※2 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第2期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」-「第2期中期計画額」）



## II 令和3年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

### 1 資産・負債・純資産の状況

#### (1) 固定資産

安佐市民病院の建替えに係る整備費などにより 372.4 億円増加し、減価償却等により▲268.5 億円減少したことから 103.9 億円増の 708.5 億円となった。

#### (2) 流動資産

安佐市民病院の建替えに係る整備費の支払いを行ったことなどにより現金預金が▲5.4 億円、新型コロナウイルス感染症に係る補助金などの未収金が▲4 億円減少し、全体としては▲9.8 億円減の 318.8 億円となった。

#### (3) 固定負債

施設整備、医療機器購入や安佐市民病院の建替えに係る整備費の財源として、広島市から長期借入金を借り入れ 101.5 億円増加し、移行前地方債の償還などにより▲34.7 億円減少したことから、全体としては 112 億円増の 657.5 億円となった。

#### (4) 流動負債

安佐市民病院の建替えに係る整備費の未払金の減少などにより▲40.6 億円減の 132.6 億円となった。

#### (5) 資本金

広島市からの出資金 193.9 億円で、期首から増減はない。

#### (6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金などにより 0.8 億円を計上し 6.6 億円となった。

#### (7) 利益剰余金

前年度からの繰越利益剰余金 14.8 億円に当期総利益 21.9 億円を合わせた 36.7 億円となった。

(表7) 貸借対照表 (全体)

区 分		2年度末残高 A	3年度末残高 B	増 ▲ 減 B-A
資 産				
固 定 資 産		604.6	708.5	103.9
流 動 資 産		328.6	318.8	▲ 9.8
現 金 預 金		211.9	206.5	▲ 5.4
未 収 金		113.7	109.7	▲ 4.0
そ の 他		3.0	2.6	▲ 0.4
合 計		933.2	1,027.3	94.1
負 債				
固 定 負 債		545.5	657.5	112.0
流 動 負 債		173.2	132.6	▲ 40.6
未 払 金		121.3	83.6	▲ 37.7
そ の 他 流 動 負 債		51.9	49.0	▲ 2.9
計		718.7	790.1	71.4
純 資 産				
資 本 金		193.9	193.9	0.0
設 立 団 体 出 資 金		193.9	193.9	0.0
資 本 剰 余 金		5.8	6.6	0.8
利 益 剰 余 金		14.8	36.7	21.9
計		214.5	237.2	22.7
合 計		933.2	1,027.3	94.1

## 2 施設整備・医療機器等購入について

### (1) 概要

安佐市民病院の建替えに係る整備費を除き、施設整備・医療機器等購入は、中期計画で平成30～令和3年度の4か年の事業費総額82.8億円を定め、その範囲内で必要な整備を行うこととしている。

3年度決算は24.1億円で、4か年の合計は71.2億円となり、中期計画との差額は11.6億円であった。

### (2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が中央棟炉筒煙管ボイラー改修工事外3.2億円、舟入市民病院が本館2階健康管理センター外改修工事外1.2億円、リハビリテーション病院がITV設備改修工事0.1億円の合計4.5億円を実施した。

### (3) 医療機器等購入

医療機器等は、広島市民病院がIVR-CT装置システム外11.3億円、安佐市民病院が手術用顕微鏡外6.1億円、舟入市民病院が汎用人工呼吸器外1.6億円、リハビリテーション病院が読影レポートシステム外0.6億円の合計19.6億円を購入した。

(表8) 令和3年度施設整備・医療機器等購入の内訳

単位:億円

区分	中期計画 ①	30～2年度 決算②	3年度決算 ③	合計 ④(②+③)	差引 ①-④	主な整備内容	
広島市民病院	施設整備	15.7	9.5	<u>3.2</u>	12.7	3.0	中央棟炉筒煙管ボイラー改修工事外
	医療機器等購入	39.0	20.7	<u>11.3</u>	32.0	7.0	IVR-CT装置システム外
	計	54.7	30.2	14.5	44.7	10.0	
安佐市民病院	施設整備	1.3	0.9	-	0.9	0.4	
	医療機器等購入	15.1	8.8	<u>6.1</u>	14.9	0.2	手術用顕微鏡外
	計	16.4	9.7	6.1	15.8	0.6	
舟入市民病院	施設整備	3.3	2.4	<u>1.2</u>	3.6	▲0.3	本館2階健康管理センター外改修工事外
	医療機器等購入	5.6	3.1	<u>1.6</u>	4.7	0.9	汎用人工呼吸器外
	計	8.9	5.5	2.8	8.3	0.6	
リハビリテーション病院	施設整備	0.4	0.3	<u>0.1</u>	0.4	0.0	ITV設備改修工事
	医療機器等購入	2.4	1.4	<u>0.6</u>	2.0	0.4	読影レポートシステム外
	計	2.8	1.7	0.7	2.4	0.4	
合計	施設整備	20.7	13.1	<u>4.5</u>	17.6	3.1	
	医療機器等購入	62.1	34.0	<u>19.6</u>	53.6	8.5	
	計	<u>82.8</u>	47.1	<u>24.1</u>	<u>71.2</u>	<u>11.6</u>	

### 3 安佐市民病院の建替えについて

北部医療センター安佐市民病院について、整備費 312.7 億円のうち 3 年度決算額は 87.6 億円で、建設工事等を行った。

(図 2) 整備スケジュール

27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
←→		←→		←→	←→	
基本計画		基本設計		実施設計	建設工事	令和4年5月1日開設

(表 9) 整備費の内訳

単位:億円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	合 計	
基本計画	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	
経費		-	-	-	-	0.7	3.1	3.8	
建替 整備費	基本設計	-	1.3	-	-	-	-	1.3	
	工事監理等	-	0.5	0.4	1.4	1.1	1.0	0.1	4.5
	実施設計	-	-	3.1	-	0.1	0.1	-	3.3
	建設費	-	-	-	11.6	121.3	66.8	6.3	206.0
	土地購入費	-	-	-	9.7	-	9.5	-	19.2
	医療機器購入費	-	-	-	-	-	9.5	64.9	74.4
		-	1.8	3.5	22.7	122.5	86.9	71.3	308.7
合 計	0.2	1.8	3.5	22.7	122.5	87.6	74.4	312.7	

### 4 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況

企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金については、3 年度中に安佐市民病院の建替えに係る整備費を含み 101.5 億円借入れ、34.7 億円の償還を行ったため、3 年度末の残高は 498.6 億円となり、2 年度末残高から 66.8 億円増加した。

(表10) 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の推移

単位:億円

区 分	2年度末残高 A	3年度中の借入・償還		3年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
		当期増加	当期減少		
広島市民病院	182.7	6.3	20.5	168.5	▲ 14.2
安佐市民病院	164.6	91.9	5.8	250.7	86.1
舟入市民病院	35.2	2.7	5.3	32.6	▲ 2.6
リハビリテーション病院	49.3	0.6	3.1	46.8	▲ 2.5
合 計	431.8	101.5	34.7	498.6	66.8

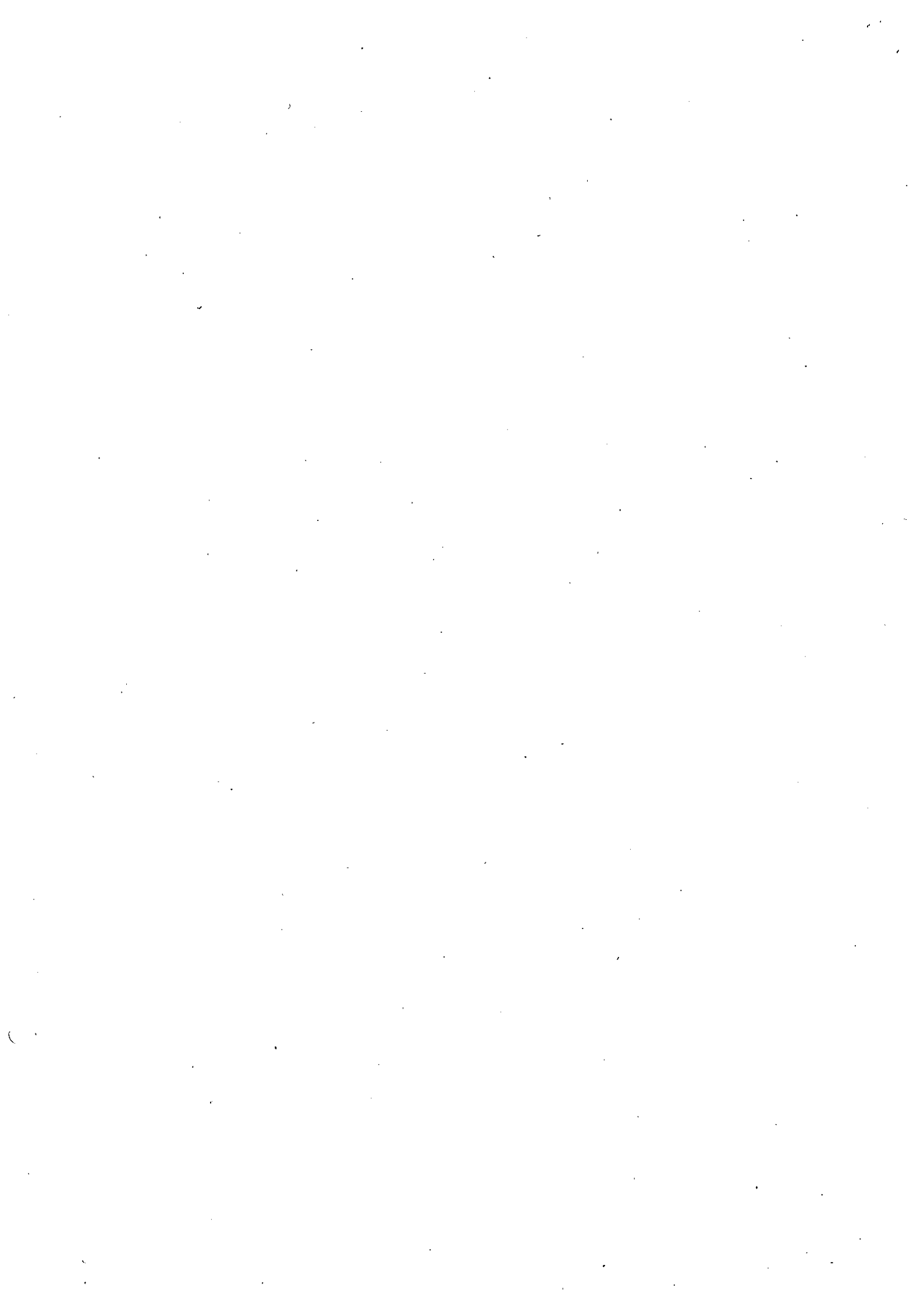
### 5 留保資金の状況

留保資金は、2 年度末残高は 203.2 億円であったが、3 年度末残高は 230.5 億円となり、27.3 億円増加した。

(表11) 3 年度末留保資金の病院別内訳

単位:億円

区 分	2年度末残高 A	3年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
広島市民病院	97.4	97.4	0.0
安佐市民病院	88.2	103.5	15.3
舟入市民病院	17.6	29.6	12.0
合 計	203.2	230.5	27.3



# 資 料 編

# 1 各年度決算比較

## (1) 収支の状況

(表1) 収支の推移

区分		第2期中期計画期間					第2期中期 計画額
		30年度	元年度	2年度	3年度	4か年合計	
収入	入院収入	363.0	367.4	343.8	358.7	1,432.9	1,446.1
	対前年度増減	-	4.4	▲23.6	14.9	▲13.2	-
	外来収入	156.0	166.3	154.0	165.9	642.2	604.2
	対前年度増減	-	10.3	▲12.3	11.9	38.0	-
	小計	519.0	533.7	497.8	524.6	2,075.1	2,050.3
	対前年度増減	-	14.7	▲35.9	26.8	24.8	-
	その他	10.4	11.1	9.4	9.0	39.9	45.5
	対前年度増減	-	0.7	▲1.7	▲0.4	▲5.6	-
	計	529.4	544.8	507.2	533.6	2,115.0	2,095.8
	運営費負担金・交付金	46.5	45.7	46.5	45.0	183.7	183.7
	対前年度増減	-	▲0.8	0.8	▲1.5	0.0	-
	その他	8.1	7.9	48.4	51.0	115.4	38.0
	対前年度増減	-	▲0.2	40.5	2.6	77.4	-
	合計	584.0	598.4	602.1	629.6	2,414.1	2,317.5
対前年度増減	-	14.4	3.7	27.5	96.6	-	
支出	給与費	292.2	298.8	295.3	295.4	1,181.7	1,190.1
	対前年度増減	-	6.6	▲3.5	0.1	▲8.4	-
	材料費	164.8	177.8	171.0	182.4	696.0	629.7
	対前年度増減	-	13.0	▲6.8	11.4	66.3	-
	経費	70.4	73.2	72.0	77.5	293.1	298.8
	対前年度増減	-	2.8	▲1.2	5.5	▲5.7	-
	減価償却費	43.1	42.6	38.3	44.2	168.2	165.1
	対前年度増減	-	▲0.5	▲4.3	5.9	3.1	-
	その他	9.4	7.9	6.8	8.2	32.3	33.0
	対前年度増減	-	▲1.5	▲1.1	1.4	▲0.7	-
合計	579.9	600.3	583.4	607.7	2,371.3	2,316.7	
対前年度増減	-	20.4	▲16.9	24.3	54.6	-	
差引損益		4.1	▲1.9	18.7	21.9	42.8	0.8
対前年度増減		-	▲6.0	20.6	3.2	42.0	-

※1 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医療収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医療収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

※2 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第2期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」-「第2期中期計画額」）

## (2) 収入の状況

(表2) 入院収入

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	209.0	211.9	199.7	205.6
対前年度増減	-	2.9	▲12.2	5.9
安佐市民病院	121.5	123.7	116.6	120.8
対前年度増減	-	2.2	▲7.1	4.2
舟入市民病院	16.7	15.9	12.6	16.5
対前年度増減	-	▲0.8	▲3.3	3.9
リハビリテーション病院	15.8	15.9	14.9	15.8
対前年度増減	-	0.1	▲1.0	0.9
計	363.0	367.4	343.8	358.7
対前年度増減	-	4.4	▲23.6	14.9

(表3) 病床利用率

単位:%

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	95.8	94.7	85.7	83.8
対前年度増減	-	▲1.1	▲9.0	▲1.9
安佐市民病院	87.9	87.7	72.7	73.5
対前年度増減	-	▲0.2	▲15.0	0.8
舟入市民病院	(76.8) 76.0	(73.4) 73.3	(51.0) 48.1	(52.5) 53.9
対前年度増減	-	(▲3.4) ▲2.7	(▲22.4) ▲25.2	(1.5) 5.8
リハビリテーション病院	94.4	95.3	89.4	93.8
対前年度増減	-	0.9	▲5.9	4.4

※ 舟入市民病院の( )の数値は、内科・外科のみの数値

(表4) 入院患者数

単位:人

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	259,925	257,653	232,325	227,306
対前年度増減	-	▲2,272	▲25,328	▲5,019
安佐市民病院	169,152	169,152	139,825	141,348
対前年度増減	-	0	▲29,327	1,523
舟入市民病院	37,184	35,938	23,537	26,354
対前年度増減	-	▲1,246	▲12,401	2,817
リハビリテーション病院	34,467	34,877	32,639	34,253
対前年度増減	-	410	▲2,238	1,614
計	500,728	497,620	428,326	429,261
対前年度増減	-	▲3,108	▲69,294	935

(表5) 新規入院患者数

単位:人

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	20,605	21,317	19,050	19,458
対前年度増減	-	712	▲ 2,267	408
安佐市民病院	14,920	15,624	13,671	14,004
対前年度増減	-	704	▲ 1,953	333
舟入市民病院	4,216	4,178	2,823	3,548
対前年度増減	-	▲ 38	▲ 1,355	725
リハビリテーション病院	461	500	484	532
対前年度増減	-	39	▲ 16	48
計	40,202	41,619	36,028	37,542
対前年度増減	-	1,417	▲ 5,591	1,514

(表6) 平均在院日数

単位:日

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	11.6	11.1	11.2	10.7
対前年度増減	-	▲ 0.5	0.1	▲ 0.5
安佐市民病院	10.4	9.8	9.2	9.1
対前年度増減	-	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.1
舟入市民病院	7.9	7.6	7.5	6.5
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 1.0
リハビリテーション病院	77.9	75.2	70.4	68.3
対前年度増減	-	▲ 2.7	▲ 4.8	▲ 2.1

(表7) 入院単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	80,399	82,249	85,975	90,461
対前年度増減	-	1,850	3,726	4,486
安佐市民病院	71,822	73,155	83,415	85,478
対前年度増減	-	1,333	10,260	2,063
舟入市民病院	44,904	44,353	53,361	62,672
対前年度増減	-	▲ 551	9,008	9,311
リハビリテーション病院	45,765	45,742	45,551	46,241
対前年度増減	-	▲ 23	▲ 191	690



(表8) 手術件数

単位:件

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	10,076	10,301	9,412	9,587
対前年度増減	-	225	▲ 889	175
安佐市民病院	5,811	6,174	5,602	5,700
対前年度増減	-	363	▲ 572	98
舟入市民病院	624	560	323	315
対前年度増減	-	▲ 64	▲ 237	▲ 8
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	16,511	17,035	15,337	15,602
対前年度増減	-	524	▲ 1,698	265

※ 件数は、手術室で行った手術件数を集計

(表9) 救急患者数

単位:人

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	30,888	31,577	20,550	22,022
対前年度増減	-	689	▲ 11,027	1,472
安佐市民病院	11,572	11,348	9,916	10,927
対前年度増減	-	▲ 224	▲ 1,432	1,011
舟入市民病院	36,957	35,739	10,545	18,790
対前年度増減	-	▲ 1,218	▲ 25,194	8,245
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	79,417	78,664	41,011	51,739
対前年度増減	-	▲ 753	▲ 37,653	10,728

(表10) 外来収入

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	97.3	103.2	96.9	101.8
対前年度増減	-	5.9	▲ 6.3	4.9
安佐市民病院	45.8	50.3	49.1	53.2
対前年度増減	-	4.5	▲ 1.2	4.1
舟入市民病院	12.1	11.9	7.2	10.1
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 4.7	2.9
リハビリテーション病院	0.8	0.9	0.8	0.8
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	0.0
計	156.0	166.3	154.0	165.9
対前年度増減	-	10.3	▲ 12.3	11.9

(表11) 外来患者数

単位:人

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	436,039	432,758	378,292	387,366
対前年度増減	-	▲ 3,281	▲ 54,466	9,074
安佐市民病院	193,273	192,530	175,199	178,053
対前年度増減	-	▲ 743	▲ 17,331	2,854
舟入市民病院	85,096	83,241	45,777	57,704
対前年度増減	-	▲ 1,855	▲ 37,464	11,927
リハビリテーション病院	5,263	5,367	4,894	5,460
対前年度増減	-	104	▲ 473	566
計	719,671	713,896	604,162	628,583
対前年度増減	-	▲ 5,775	▲ 109,734	24,421

(表12) 外来単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	22,325	23,834	25,622	26,274
対前年度増減	-	1,509	1,788	652
安佐市民病院	23,682	26,104	28,039	29,896
対前年度増減	-	2,422	1,935	1,857
舟入市民病院	14,205	14,348	15,830	17,547
対前年度増減	-	143	1,482	1,717
リハビリテーション病院	15,090	16,714	16,326	14,941
対前年度増減	-	1,624	▲ 388	▲ 1,385

(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移 (損益収支分)

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	19.4	18.6	23.7	19.4
対前年度増減	-	▲ 0.8	5.1	▲ 4.3
安佐市民病院	7.1	6.8	6.1	6.7
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.7	0.6
舟入市民病院	13.0	13.3	8.4	11.2
対前年度増減	-	0.3	▲ 4.9	2.8
リハビリテーション病院	7.0	6.9	8.0	7.2
対前年度増減	-	▲ 0.1	1.1	▲ 0.8
計	46.5	45.6	46.2	44.5
対前年度増減	-	▲ 0.9	0.6	▲ 1.7

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移 (資本収支分)

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
安佐市民病院	0.1	0.0	0.0	0.1
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	0.1
舟入市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
リハビリテーション病院	1.2	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	1.3	1.2	1.2	1.3
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	0.1

(表14) 3年度運営費負担金・交付金の内訳

単位:億円

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.4	0.1	0.2	0.9	2.2
2. 救急医療	15.9	11.0	1.8	3.1	-
3. 被爆者健診	0.1	-	-	0.1	-
4. 看護師養成	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
5. 特殊医療(リハビリテーション等)	4.3	0.0	1.5	-	2.8
6. 小児医療	2.2	-	0.4	1.8	-
7. 院内保育	0.7	0.3	0.4	-	-
8. 企業債利息償還金	1.9	1.0	0.3	0.4	0.2
9. 医師等の研究研修に要する経費	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1
10. 経営研修に要する経費	0.0	0.0	0.0	-	-
11. 共済組合追加費用	1.0	0.6	0.3	0.1	-
12. 退職手当(交付金)	0.2	-	-	0.2	-
13. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分を除く)	14.2	6.0	1.7	4.6	1.9
計	44.5	19.4	6.7	11.2	7.2
資本収支分					
14. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分)	1.2	-	-	-	1.2
15. 安佐市民病院建替整備分	0.1	-	0.1	-	-
計	1.3	-	0.1	-	1.2
合計	45.8	19.4	6.8	11.2	8.4

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
北館					
16. 安佐市民病院北館準備調整に係る経費	0.3	-	0.3	-	-
17. 安佐市民病院北館整備事業	9.5	-	9.5	-	-
合計	9.8	-	9.8	-	-

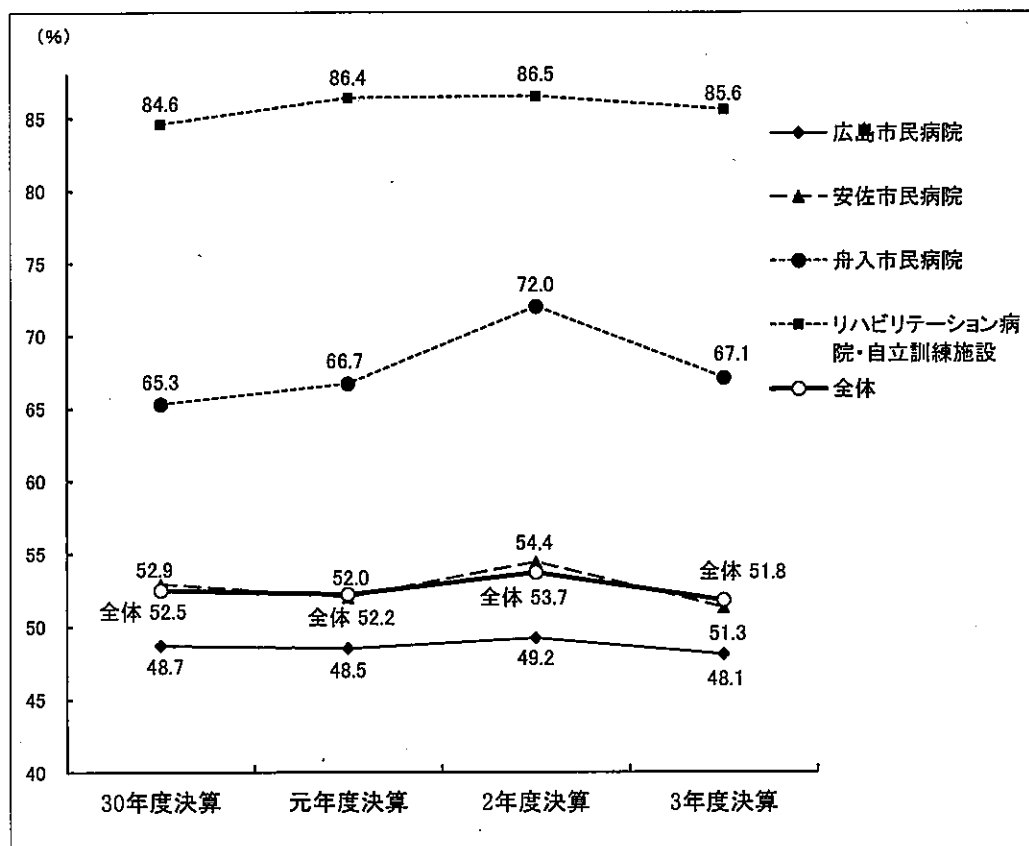
(3) 支出の状況

(表15) 給与費

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	157.8	161.5	157.8	158.3
対前年度増減	-	3.7	▲ 3.7	0.5
安佐市民病院	92.1	94.1	94.7	94.2
対前年度増減	-	2.0	0.6	▲ 0.5
舟入市民病院	24.5	24.7	24.6	24.1
対前年度増減	-	0.2	▲ 0.1	▲ 0.5
リハビリテーション病院	17.8	18.5	18.2	18.8
対前年度増減	-	0.7	▲ 0.3	0.6
計	292.2	298.8	295.3	295.4
対前年度増減	-	6.6	▲ 3.5	0.1

(図1) 給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率 = (給与費 / (医業収益 + 営業収益 - 運営費負担金 - 交付金(企業債元金償還分を除く))) × 100  
 なお2年度及び3年度は、繰入対象部門に配分した新型コロナウイルス感染症対応に係る空床確保補助金を加算した。

※ 本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。

(表16) 給与費の推移-職種別

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
医師	65.7	67.4	66.9	68.6
対前年度増減	-	1.7	▲ 0.5	1.7
看護師	126.0	128.4	125.5	123.7
対前年度増減	-	2.4	▲ 2.9	▲ 1.8
医療技術職	38.0	38.5	38.3	38.8
対前年度増減	-	0.5	▲ 0.2	0.5
事務	9.4	9.5	9.4	9.4
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	0.0
業務員	1.0	1.2	1.4	1.4
対前年度増減	-	0.2	0.2	0.0
嘱託・臨時	42.0	43.3	43.6	42.6
対前年度増減	-	1.3	0.3	▲ 1.0

(表17) 正規職員数の推移

単位:人

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
医師	327	342	330	344
対前年度増減	-	15	▲ 12	14
看護師	1,458	1,500	1,486	1,427
対前年度増減	-	42	▲ 14	▲ 59
医療技術職	526	531	525	536
対前年度増減	-	5	▲ 6	11
事務	114	119	117	120
対前年度増減	-	5	▲ 2	3
業務員	15	20	20	21
対前年度増減	-	5	0	1
計	2,440	2,512	2,478	2,448
対前年度増減	-	72	▲ 34	▲ 30

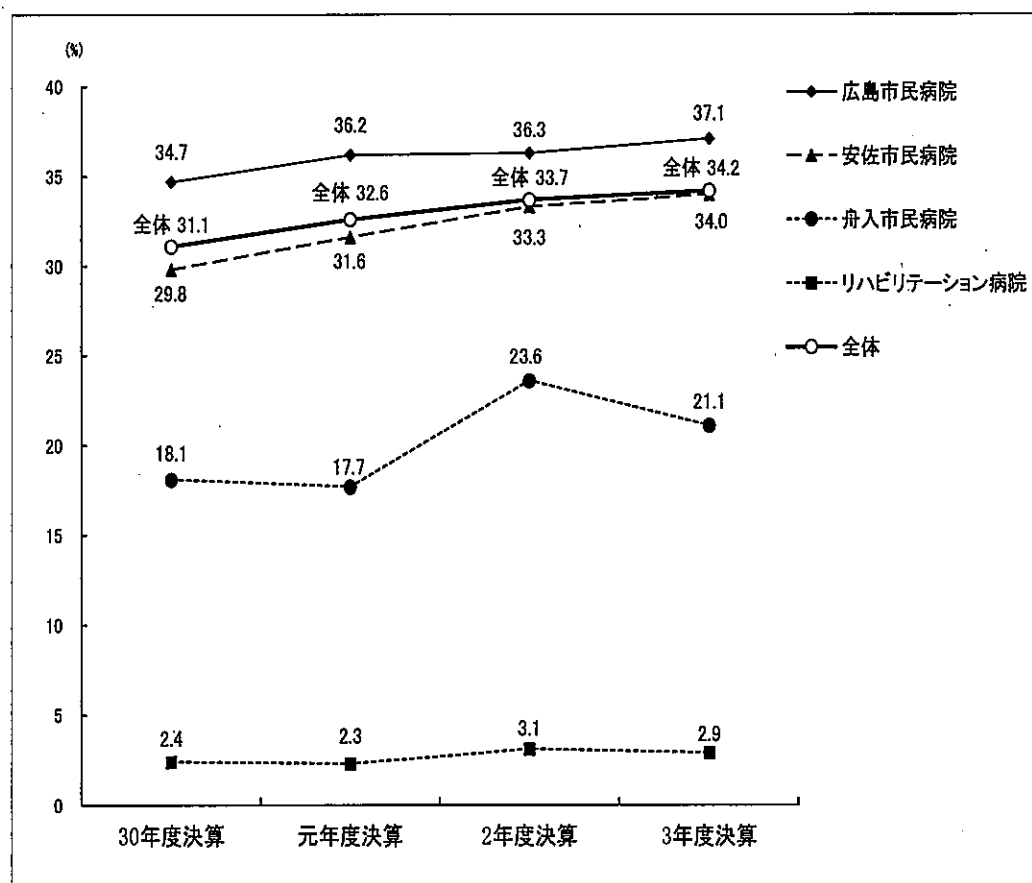
※ 職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18) 材料費

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	108.4	116.4	109.7	116.2
対前年度増減	-	8.0	▲ 6.7	6.5
安佐市民病院	50.4	55.7	55.8	59.9
対前年度増減	-	5.3	0.1	4.1
舟入市民病院	5.6	5.3	5.0	5.8
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.3	0.8
リハビリテーション病院	0.4	0.4	0.5	0.5
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.0
計	164.8	177.8	171.0	182.4
対前年度増減	-	13.0	▲ 6.8	11.4

(図2) 材料費対医業収益比率



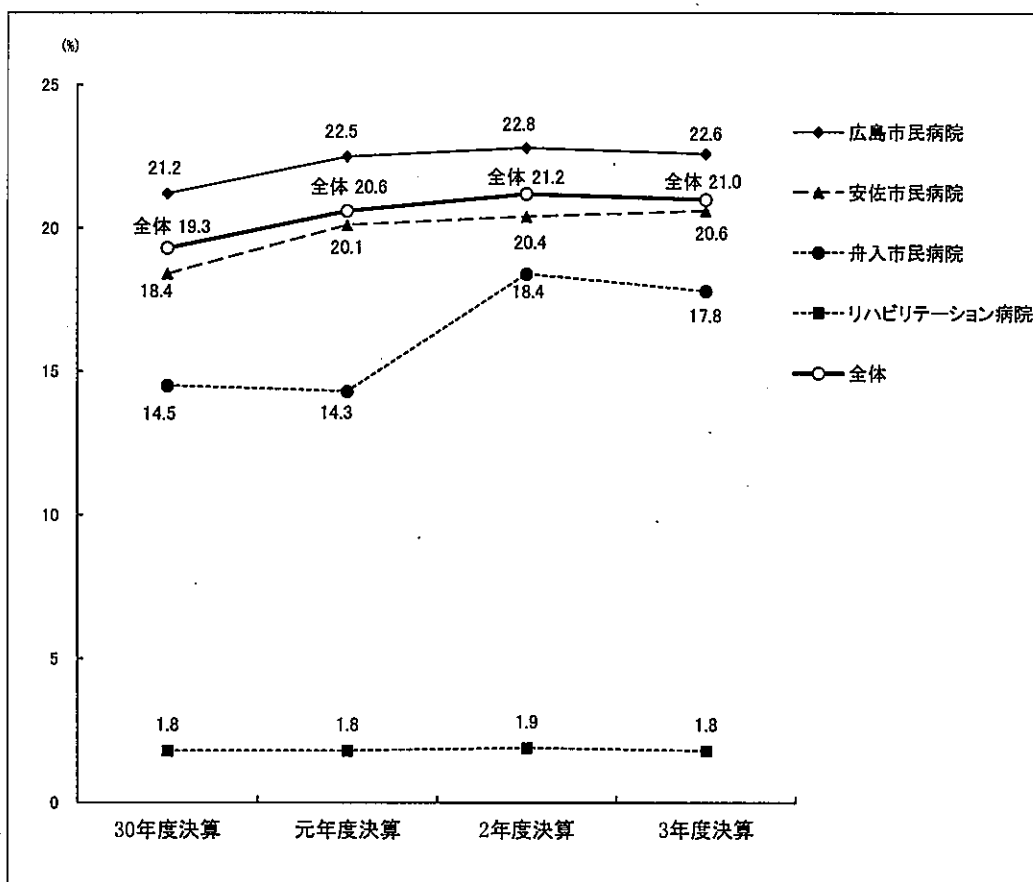
注 材料費対医業収益比率=[材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表19) 材料費のうち薬品費

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	66.1	72.2	69.1	70.8
対前年度増減	-	6.1	▲ 3.1	1.7
安佐市民病院	31.1	35.4	34.1	36.3
対前年度増減	-	4.3	▲ 1.3	2.2
舟入市民病院	4.5	4.3	3.9	4.9
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 0.4	1.0
リハビリテーション病院	0.3	0.3	0.3	0.3
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	102.0	112.2	107.4	112.3
対前年度増減	-	10.2	▲ 4.8	4.9

(図3) 薬品費対医業収益比率



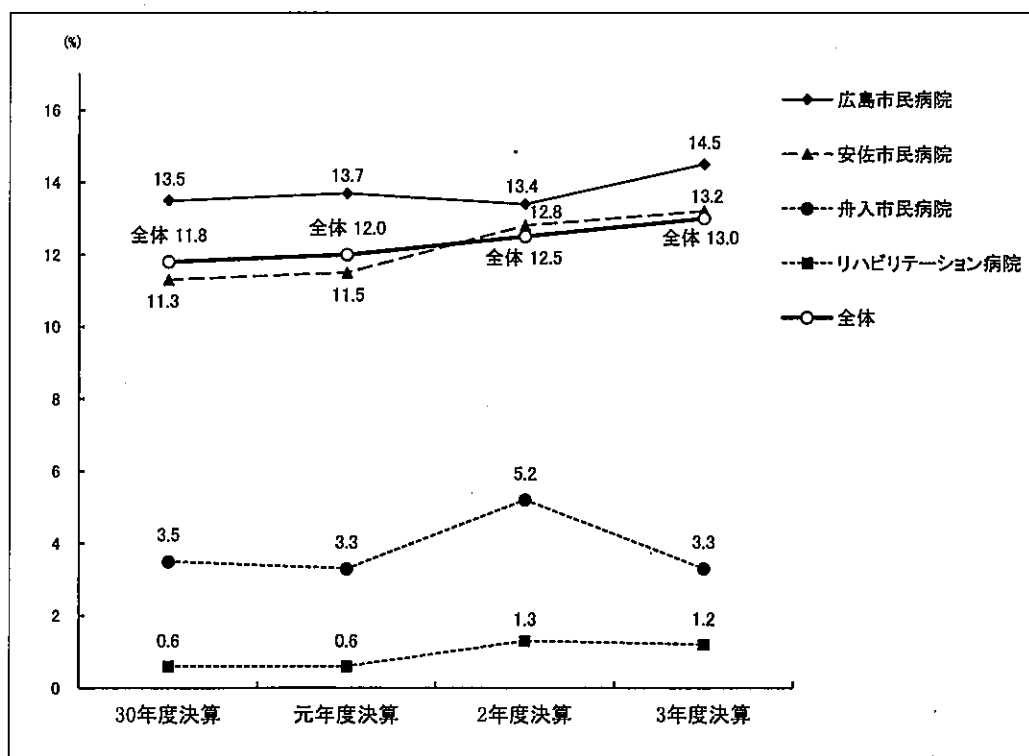
注 薬品費対医業収益比率 = [薬品費 / 医業収益 (入院収入 + 外来収入 + その他医業収入)] × 100

(表20) 材料費のうち診療材料費

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	42.2	44.1	40.5	45.3
対前年度増減	-	1.9	▲ 3.6	4.8
安佐市民病院	19.2	20.2	21.5	23.2
対前年度増減	-	1.0	1.3	1.7
舟入市民病院	1.1	1.0	1.1	0.9
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2
リハビリテーション病院	0.1	0.1	0.2	0.2
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.0
計	62.6	65.4	63.3	69.6
対前年度増減	-	2.8	▲ 2.1	6.3

(図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率=[診療材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、材料費の決算額とは一致しない。



(表21) 経費

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	36.8	38.2	37.5	39.3
対前年度増減	-	1.4	▲ 0.7	1.8
安佐市民病院	20.2	21.4	21.2	23.9
対前年度増減	-	1.2	▲ 0.2	2.7
舟入市民病院	8.7	8.7	8.6	9.4
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.1	0.8
リハビリテーション病院	4.7	4.9	4.7	4.9
対前年度増減	-	0.2	▲ 0.2	0.2
計	70.4	73.2	72.0	77.5
対前年度増減	-	2.8	▲ 1.2	5.5

(表22) 減価償却費

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	25.6	25.5	23.6	21.6
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 2.0
安佐市民病院	11.7	11.2	9.3	17.9
対前年度増減	-	▲ 0.5	▲ 1.9	8.6
舟入市民病院	3.6	3.7	3.2	2.5
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.5	▲ 0.7
リハビリテーション病院	2.2	2.2	2.2	2.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	43.1	42.6	38.3	44.2
対前年度増減	-	▲ 0.5	▲ 4.3	5.9

(表23) その他の支出

## ア 費目別

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
資産減耗費	0.7	0.2	0.3	0.2
対前年度増減	-	▲ 0.5	0.1	▲ 0.1
過年度損益修正損	1.5	1.3	1.0	1.4
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 0.3	0.4
長期借入金・移行前地方債利息	5.2	4.8	4.5	4.6
対前年度増減	-	▲ 0.4	▲ 0.3	0.1
その他	2.0	1.6	1.0	2.0
対前年度増減	-	▲ 0.4	▲ 0.6	1.0
計	9.4	7.9	6.8	8.2
対前年度増減	-	▲ 1.5	▲ 1.1	1.4

## イ 病院別

単位:億円

区分	30年度	元年度	2年度	3年度
広島市民病院	6.2	5.5	4.6	4.4
対前年度増減	-	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 0.2
安佐市民病院	1.5	0.9	0.9	2.1
対前年度増減	-	▲ 0.6	0.0	1.2
舟入市民病院	1.1	0.9	0.8	1.1
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 0.1	0.3
リハビリテーション病院	0.6	0.6	0.5	0.6
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.1	0.1
計	9.4	7.9	6.8	8.2
対前年度増減	-	▲ 1.5	▲ 1.1	1.4